

平成24年4月30日

プロジェクト報告書

団体名 特定非営利活動法人さんさんくらぶ

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

ワールド・カフェ「多摩のまちづくり」

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

多摩地域でさまざまな角度からまちづくりに取り組んでいる団体の活動の特色を把握することを土台に、各団体から参加者を募って「多摩のまちづくり」の21世紀ビジョンを追求するワールド・カフェを開催し、その論議を集約したレポートを作成して、団体間の連携と協働の基礎資料とします。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

多摩地区の市民活動(とくにNPO 活動)団体をさまざまな資料を点検してリストアップし、活動の全容を調べます。いくつかの団体と連携して調査チームを編成し、「多摩のまちづくり」という見地から共同の課題や問題点を把握する調査を行います。それをもとに反応のあった団体に呼びかけて「ワールド・カフェ」を開催し、開かれた自由な討議の場を通じて団体間の情報交換やコラボレーションの可能性を探ります。カフェで得られたアイデアをまとめて整理し、市民活動の意義を多摩ニュータウン全域に広く深く浸透させる活動の資料とします。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

真如苑の市民活動助成交流フォーラムの参加団体を手始めに、多摩地区でまちづくりに関わる団体をチェックしてみたところ、内容がきわめて広範にわたり、最初の想定以上に数も多いことがわかりました。全体を調査することは諦めて、当くらぶと同様に「遊びやレクリエーション」を手掛かりにまちづくりに取り組む団体を町田市を中心に選び出し、事前の訪問調査を行った上でワールド・カフェを開催しました。カフェは事前のアトラクションも含めて和やかに行われ、まちづくりとレクリエーションを巡るさまざまな「夢」が語られました。参加者の感想も上々で、この方法の有効性を確かめることができました。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

多摩地区には環境、福祉、青少年育成、文化・スポーツ・レクリエーションを巡る多様な団体が活動しており、それらが地域の行政サービスの狭間を埋める大きな役割を果たしていると感じました。しかし、団体間の連携は必ずしも十分でなく、互いに「蛸壺」化してせっかくの活動が大きな広がりを持ちえない憾みがあります。ワールド・カフェという討議方法は、従来の形式的な会議手法を越えて参加者の深いレベルでの交流を促す優れた方法であり、それによって団体間の連携を促進する可能性が高いと思われます。このイベントを契機として、今後もこうした「つながり」活動を進めていきます。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

○参考資料あり・特になし



ワールドカフェ「多摩のまちづくり」
グラフィックによるまとめ



ワールドカフェ風景